

## **FRONTEO の自動分類・審査 AI システム「Mekiki」、 中外製薬で導入**

### **医薬品安全性情報の確認作業を支援**

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO）は、FRONTEOの自然言語処理AIエンジン「Concept Encoder（商標：conceptencoder、読み：コンセプトエンコーダー）」を活用した自動分類・審査AIシステム「Mekiki」が、中外製薬株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO：奥田 修、以下中外製薬）において導入されたことをお知らせします。

Mekikiは、AIを用いて製薬企業・医療機関・研究機関等で取り扱われる疾患情報や特許情報、薬剤の安全性情報・競合品情報、営業・広報関連文書など専門性の高い情報を、目的に応じて検出・分類し、文書管理・審査業務の効率化と負担・コスト低減に貢献するシステムです。対象とするデータは文書ファイル・電子メール・スライドファイルなど、どのような形式でも処理が可能で、専門用語や業界特有の分類・管理基準にも対応していることが特徴です。

この度の導入では、中外製薬のメディカルアフェアーズ本部における、医薬品の安全性情報を人の目で確認する業務に関し、自然言語処理AI技術を活用することによって、必要な情報の検知のより確実な実施の支援を図ります。

FRONTEO は、今後も高性能の AI システムの提供を通じて医療・製薬業界の DX（デジタルトランスフォーメーション）推進と業務の質向上・効率化に貢献してまいります。

本件単独による当期業績への影響については軽微ですが、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

#### ■FRONTEO について URL: <https://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、自然言語処理に特化した自社開発 AI エンジン「KIBIT（読み：キビット）」と「Concept Encoder（商標：conceptencoder、読み：コンセプトエンコーダー）」、「Looca Cross（読み：ルーカクロス）」を用いて膨大な量のテキストデータの中から意味のある重要な情報を抽出し、企業のビジネスを支援する、データ解析企業です。2003年8月の創業以来、企業の国際訴訟を支援する「eディスカバリ（電子証拠開示）」や「デジタルフォレンジック調査」などのリーガルテック事業をメインに、日本、米国、韓国、台湾とグローバルに事業を展開してきました。同事業で培った AI 技術をもとに、2014年よりライフサイエンス分野、ビジネスインテリジェンス分野、経済安全保障へと事業のフィールドを拡大し、AI を用いて「テキストデータを知見に変える」ことで、創薬支



援、認知症診断支援、金融・人事・営業支援など、様々な企業の課題解決に貢献しています。2007年6月26日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。2021年1月第一種医療機器製造販売業許可を取得（許可番号：13B1X10350）、同9月管理医療機器販売業を届出（届出番号：3 港み生機器第120号）。資本金 3,034,846 千円（2022年3月31日現在）。

※FRONTEO、conceptencoder、KIBIT、Looca CrossはFRONTEOの日本における登録商標です。

<報道関係者のお問合せ先>

株式会社 FRONTEO 広報担当  
Email : [pr\\_contact@fronteo.com](mailto:pr_contact@fronteo.com)

<ライフサイエンス AI 事業に関するお問合せ先>

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部  
<https://lifescience.fronteo.com/contact>